

群馬菱の実会だより

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>

(本紙は「群馬菱の実会ホームページ」から、毎月1日に、カラーで綺麗にご覧頂けます。ネットでの閲覧をお奨めします)

秋の親睦旅行「南房総 小湊鯛の浦温泉」道中記

10月17日(木)台風一過の快晴のなか、たくさんの方にお見送りをいただき大利根寮を出発。一泊二日の南房総の旅がスタートした。参加者は、総勢38名(会員:34名、会員の奥さん:2名、総務K、労組書記長)で例年とほぼ同数。往路の車中は、久しぶりの再会を喜びあう和やかな雰囲気なか、カラオケ等を交えあつという間に昼食場所(金谷フェリーサービス)に到着。ここで神奈川県から3年ぶりに参加の益山さんが合流。昼食後は清澄寺を参拝し、16時に宿泊先の鴨川ホテル三日月に到着。

懇親会は、車中とは趣を変えて、お互い膝を突き合わせての情報交換や、カラオケも途切れることなく大いに盛り上がった。

復路は、ホテルから近い誕生寺の参拝を皮切りに、お土産店2店に立ち寄った。旅先では、よく偶然の出会い・ハプニング(邂逅話)があることを耳にするが、今回立ち寄ったお土産店でそのハプ

ニングが起きた。店で働く女性が、旅行参加者の近所に住む女性と知り合いであることが判り、Aさんが、店の女性からその女性に宛てた手紙を託され、車中で話題の一コマともなった。お土産店の後は、金谷で昼食。前日合流した益山さんはここでフェリーに乗船し帰路に。出港する益山さんとの名残を惜しんで、お互い手を振り合う光景は、何ともロマンチックな光景であったのでは。昼食を済ませた後、東京湾アクアラインを経由し帰路に着いた。

往復約500kmの旅であったが、道中出会いがあり、別れがあり、車中は井上幹事の巧みな話術で頭の体操・ゲームがあり、切れ目のないカラオケあり、で大変盛り上がった親睦旅行であったと思います。こらからも皆様からのご意見を頂戴しながら、魅力ある親睦旅行を目指します。

今回、ご多忙の中ご参加いただきました、湯原総務課長様、嶋田書記長様には大変お世話になり有難うございました。



＜旅行の写真をスライドショームービーに編集し、YouTube にアップしました。菱の実会ホームページからご覧下さい＞



写真：ブロッケン現象

【菱の実雑感】
 十月中旬、紅葉の朝日岳、清水峠、谷川岳を走破した。距離は30km弱。累積標高差約2400m(標準コースタイム17時間半)を体力測定を兼ねての日帰りである。▼荷物はあるだけ少なくし雨具、防寒着、ヘッドライトと水0.5リッター2食程度の行動食のみ。明るくなつて登山口駐車場をスタート、白毛門、笠ヶ岳、朝日岳でトレイルランナーに抜かれる、清水峠で水分補給ここからはランに最適な稜線で時間を稼ぎ蓬峠着12時過ぎ計画より20分遅れ、ここで下山か続行か迷う日没まで5時間！続行。武能岳、茂倉岳の登りでバテる。▼一の倉岳を通過し谷川岳手前でブロッケン現象撮影(左の写真)、西黒尾根を下り途中で日没となりライトを頼りに登山口18時着、12時間かかったが充実した1日だった。(生田三郎)

第63回 ゴルフ愛好会コンペ

順位	氏名	GRS	NET
優勝	萩原十四夫	76	71.2
準優勝	高木よし子	78	72.0
3位	小林 初男	76	72.4
4位	坂田 修	73	73.0
5位	益子 喜雄	76	73.6
6位	竹沢 宏	78	74.4
7位	高柳 静雄	84	74.8



10月8日(火)に大間々カントリー倶楽部に於いて、第63回菱の実会ゴルフ大会を実施しました。今回は上武ゴルフ場での開催予定でしたが、台風18号でコースが冠水してしまい復旧工事を行いました。まだほこりがひどい為急ぎ大間々カントリークラブに変更して実施しました。当日は10月にしては蒸し暑い1日でしたが、まずまずコンディションの中30名の参加で楽しいゴルフを行うことが出来ました。結果は上位6人がグロス70台とハイレベルの戦いの中、萩原十四夫さんが優勝をしました。次回は12月10日(火)に予定(上武G)。

第14回 カラオケ大会

順位	氏名	曲名	HD	採点
優勝	栗原正吾	帰ってこいよ	15.2	94.2
準優勝	近藤正司	こころの絆	6.2	93.2
3位	永沼 進	別れ船	4.2	92.2
4位	佐藤辰利	淡路の人よ	3.0	90.0
5位	境野賢治	また逢う日まで	3.2	88.2
6位	江川八郎	君恋し	3.0	88.0
7位	根岸佳代子	人生みちずれ	6.5	87.5



第14回大会を、9月2日(月)「まねきねこ・尾島店」で実施しました。イントロで皆で歌おう曲は、藤圭子を偲んで「圭子の夢は夜ひらく」を合唱し、永沼さんの乾杯でスタート致しました。順番制(くじ引き)で、1曲目は喉を潤して、2曲目が採点曲としました。皆さんの「おはこ」曲をご披露頂きました。 damsの採点基準(ソフト)も、前回より厳しくなり概算 5~6 点程度低く査定されたようです。そんな中で、栗原さんが見事に栄光の座に輝きました。今回も11人の参加で和気あいの雰囲気の中、皆さんの拍手を頂きながら熱唱し、楽しい一時を過ごしました。

【馬電ふれあいフェスティバル】

10月12日(土)秋晴れの真夏のような日差しが照りつける中、馬電フェスティバルが盛大に開催されました。清水太田市長さんまで車で駆けつけて、開場のテープカットを行う一コマもありました。会場では社員はもとより、社員

のご家族や町内の皆さんが大勢参加され、ズラリと並んだ模擬店やメインステージでの各ショーや八木節音頭で賑やかでした。菱の実会も受付にて会員の皆さんにお茶と模擬店購入券などで対応させていただきました。久しぶりに昔の馬電秋の大運動会や秋祭りに想いしたった一日でした。



**祝長寿
「喜寿」のお祝い**

村岡 勉 様	太田市尾島町	77歳 (2013/11/07)
高田 昇 様	太田市藤阿久町	77歳 (2013/11/13)

第3章 国民の権利及び義務 (国民たる要件) 第10条 日本国民たる要件は、法律でこれを定める。 (基本的人権) 第11条 国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与へられる。

◇ 地球温暖化はCO2が本当に原因なのか？

CO2原因説は肯定派 vs 懐疑派で論争中・・・しかしIPCC第5次報告(9.28付新聞)は、懐疑派を一蹴した内容であった。メディア受け専門家は原発心配無用と公言し、又「温暖化最悪シナリオに待たなし」と煽る。その真贋を斬る。

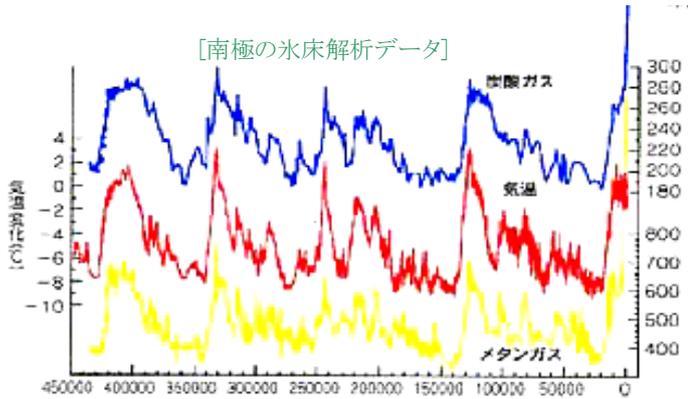


図1 氷河期と間氷期の気温とCO2,メタン濃度(45万年前より)

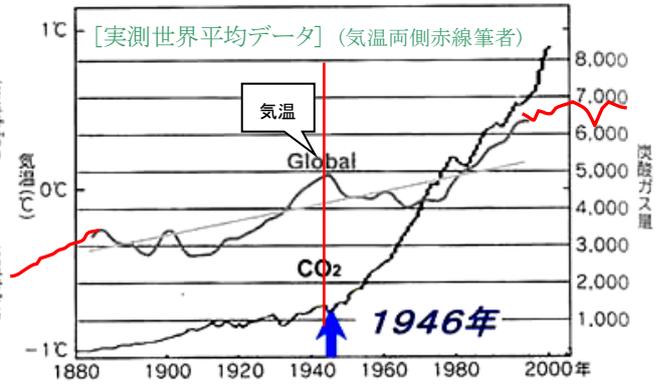


図2 世界の平均気温とCO2量の推移(1880～2000年)

出典:IPCC第4次報告書より、赤祖父俊一「正しく知る地球温暖化」に掲載を、小出裕章文献(第4話*3)で引用、更にそれをやじ馬が無断借用し手を加える。

図1:現在(0)で気温(赤線)は上下動あるが過去のピークと大差ない。CO2(青線)は過去のピーク 300→400ppmv に急増、メタン(黄線)も 800ppbv が3倍に急増。気温の振幅は10度もあり、更に上下動しつつ温暖化は急峻に、寒冷化は緩慢に推移する。しかも気温、CO2、メタン共、挙動が見事に一致する。人的CO2は全くない時代なのに、である。

図2:CO2が1946年から急増、気温は図外約1800年から上昇し、CO2より150年先行する。そして2000年以降は横這い(追加赤線)である。図1もマイクロでは気温先行である。即ち気温が上がる(原因)とCO2が増加する(結果)のだ。

気候変動周期(図1)は、地球自転や太陽活動によると昔?学んだ。しかし小刻みな上下動を含め、原因は明確でないという。長期予報で今冬の寒暖も当たらないのに、100年先をスパコンで計算しても、入力するデータや気候モデルが、あやふやな科学的根拠なら、結論もしかりである。IPCCはトップ級千人の学者が、1万件近い論文を精査、審議した結論だという。政治と違い多ければ正しいとは限らないし、研究費が左右するとなれば、原子カムラと同じであろうと想像する。ソ連崩壊や原発促進のため、の機関との裏読みも遠からじ・・・深層は別に科学的見地で、やじ馬の結論は『人的CO2は主原因にあらず、他の要因*1による。CO2削減しても温暖化は止まらないし、何もしなくても止まる。・・・』いずれにしても今後10、20年もすれば、自然が結果を出してくれる。*1 太陽活動(銀河宇宙線)、エアロゾル等(*2の著書による)地球や宇宙の歴史と営みは、人的CO2如きで壊れるほど、やわではないとの説を唱える頼りがいのある学者*2もいる。

*2「気候変動とエネルギー問題」(CO2温暖化論争を超えて)中公新書の著者深井有、それこそ目から鱗である。せめて書店でまえがきだけでも読んでみて欲しい。

◇ 京都議定書破綻と日本

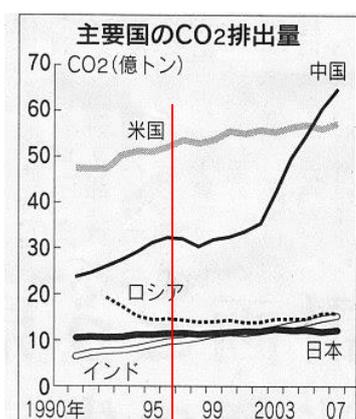


図3 主要国のCO2排出量推移

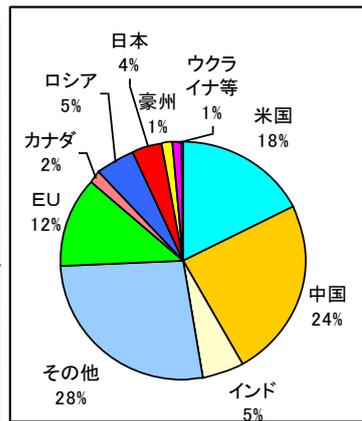


図4 2010年国別CO2排出シェア (出典:図3は2009.10.2、図4は2013.9.10。共に日経新聞)

1997年京都会議での決め事である。この時新興国は削減義務なし。米国は批准拒否。EUとロシア、日本が90年比-6%でスタート、その後09年鳩山首相(当時)が、20年に-25%を条件付で公約。しかし、フクシマ事故で破綻。12年に期限切れ。公約反故の日本は世界に冷評され、国際的に約束を守れない国は、約束しない国より、当然劣る。更にマスキー法の再来を狙った民主政権は、甘かった。規制にあえぐ企業の海外逃避を促してしまった。新興国で造れば規制を受けないのだから・・・。安倍政権は、第2約束期間を拒否、白紙スタートとした。CO2原因説は嘘であること、日本シェア(図4)を考慮して、税金のムダ遣い(年1兆円)をやめ、したたかな外交を期待する。

◇ IPCC 第5次評価報告書つまみ食い

最近の気温が横這いなのは、自然のゆらぎと説明し、温暖化はいずれ戻るとIPCCはいう。今世紀末の予測値が前回に比べ、下がったのは精度を上げたため、とも弁解をする。

表1 新聞記事(9.28 朝日)抜粋 (赤字は筆者計算)

100年間の気温上昇(赤字)は、前回に比べ0.1度下がっている。

6年間CO2は増え続けていたののである。さらに報告書は今年の猛暑や異常気象も温暖化(人的CO2)によるとしている。

確かに、CO2に関係なく海水温の上昇は免れない。エル・ニーニョやラ・ニーニャ現象、更に原発も大きな要因であることを忘れてはならない。

やじ馬は、温暖化の影響だが大気対流(高気圧W居座り)や、

海水温上昇による水蒸気多発(積乱雲)が主原因で、CO2によるものではない。との懐疑派の説に賛同する。

	第4次(2007)	第5次(2013)
過去の気温上昇	0.74度(1906～2005年) 0.74/100	0.85度(1880～2012年) 0.64/100
今世紀末の予測	1.1～6.4度	0.3～4.8度

参考資料:肯定派・懐疑派のネット情報や書籍多数。特にIPCCデータを精査したブログ、井上雅夫「二酸化炭素は本当に地球温暖化の原因か?」全242Pに及ぶ大作で大変参考になった。前述*2同様に一読を進めたい。(13.10.1 第5話了)

◇ おしらせ ◇

〒に市外局番のないものは 0276 です

行事	日時	場所	申込み、他
11月の囲碁愛好会	11月11日(月) 9:30~	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
11月の麻雀愛好会	11月14(木)28日(木) 9:30~17:00	ブライダルスクール 会費 1000円	申込み 11/2日、26日まで 荒井 昭三 (52-0803) 小林 昌樹 (38-0964)
11月の将棋愛好会	11月18日(月) 9:30~	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
グラウンドゴルフ 第73回秋季大会	11月25日(月) 9:30~(集合9:15)	利根GG場 (会費:500円)	申込み: 11月17日(日) 島 保夫 (52-0889) (雨天中止)
第64回ゴルフ愛好会	12月10日(火)	上武ゴルフ場	川口 (56-2678) 関根 (31-8410) 長谷川 (0270-74-2056) 竹沢 宏 (52-2271)
12月のカラオケ月例会	12月2日(月) 17:30~21:30	「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み: 11月30日まで 江川 八郎 (52-1886)
12月の パソコンサークル	12月2日(月) 13:30~14:45	労組会議室	ご自由にご参加ください
12月の幹事会	12月2日(月) 15:00	労組会議室	
11月の編集委員会	11月18日(月)13:30	労組会議室	

泊まって貯めて、貯めて泊まる!
保養所5施設合同企画 **~ スタンプキャンペーン ~** スタンプカードの発行は2014年
期間中、各施設をご利用のお客様に限りご宿泊料金5,000円毎に **3月31日宿泊分まで!お早めに!!**
1スタンプ(1ポイント)押印。ポイントが貯まったカードは平日に割引券としてお使い頂けます。
3ポイント⇒500円 6ポイント⇒1,200円 10ポイント⇒2,500円 ※スタンプ押印・割引券利用の期間などには条件がございます。
詳しくはメルコリゾートサービス欄までお問い合わせ下さい。
Tel:03-6402-6436 Fax:03-6402-6166

17フォーム・オール電化・太陽光発電 秋の大展示会

開催日 11月16日(土)~17日(日)

会場 三菱電機群馬製作所 ゲストホール 10時~16時

菱馬テクニカ株式会社
(営業課) 0120-941650

編集後記

・親睦旅行は、大型台風が直前足早やに去ってくれて何よりでした。皆さんの楽しそうなスナップ写真を、スライドショームービーに編集して菱の実会ホームページに掲載しました。たのでご覧ください。
・ホームページには、過去の懐かしい旅行や行事のビデオや写真を掲載してありますので、ついひたつてみてください。
(篠崎)

訃報

ご冥福をお祈り申し上げます。

中村 健三さん (享年82歳)
(旧姓 矢沢) 伊勢崎市境
9月21日ご逝去されました。

増田克己さん (享年73歳)
太田市南ヶ丘町
9月30日にご逝去されました。

発行 2013-11-1 No. 247

発行責任者 二宮 平太郎

● 編集: 「菱の実会だより」編集委員会
〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800

● 事務局 三菱電機労働組合群馬支部内
TEL 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207